



中村正・秋田屋本店社長

岐阜県製薬協会の創立 課題に対処し、発展する70周年記念式典が今月1 ことを目的として設立に日、各務原市川島竹早町 至りました。

の「内藤記念くすり博物 創立時の戦後混乱期は館」で開催されました。物資不足の状態特に医

当協会は、県内の医薬 薬品は製造する環境も整品等製造業者で組織する わず苦しい状況が続きま団体で、準備期間を経て した。平和が確かなもの昭和23年5月20日に第1 となり、繁栄に向かう昭期目の総会が開催され、 和20年代後半から30年代にかけて、そして高度経本年度に第70期を迎えま した。 済成長期を迎え、さらに低成長期に入って現在に

戦後の復興期に新たな 国造りを目指す薬業界諸氏の志と、監督主務官庁である県薬務水道課の指導の下、業界が協力して

## 県協会創立70周年



なかむら・ただし 1951年、岐阜市生まれ。博士(医学)。県経済同友会筆頭代表幹事。岐阜南法人会長。県製薬協会長。みつばちの家庭理事長。県養蜂組合連合会長。県研究開発財団評議員。岐阜放送番組審議会委員、岐阜県フェンシング協会長。県立岐阜北高校同窓会長。

至っています。この70年 県内福祉施設への寄付 ます。われわれ製薬業者間の歴史は、歴代会長の や、薬の啓蒙運動を広く はこのような実情をもっリーダーシップの下、役 展開しています。と自覚し、全国に、世界に

員、会員企業の積極的な 岐阜県は、わが国にお 「製薬の岐阜県を発信し参画により着実に発展の ける製薬発祥の地であ ていく使命があります。道歩んできました。現 り、本場であります。日 岐阜県当局でも医薬品在加盟は26社で、薬事に 本書紀ではこの地が薬づ 産業を地域活性化への取 業と厚生労働省、薬務行 記載が見られ、最古の歴 り組みとして成長する産 政とのパイプ役を務め、 史を有する県となってい り、超高齢化社会、健康 長寿社会へ対応する「高 付加価値産業」として重 要視しています。このよ

い制度や最新技術の研究 さらに近年の薬事工業 会、検討会を実施し、県 生産動態統計によると、製薬業のレベルアップを 岐阜県の医薬品生産額は 図っています。さらに社 全国のベスト10に何度も 会貢献事業として、毎年 入り、製薬の本場といえ グローバル化がさらにス

## 「製薬の岐阜」発展誓う

ビードアップ する中での国 ながら少しでも役に立 際競争力の強 るよう努めたいと新た 化、研究開発 決意をした次第です。

を担う人材の育成、そし て現在、最も苦労してい る人手の確保は待ったな の状況です。

当協会が80周年、90周 年、100周年に向けて

存続し発展するには製薬 企業の役割である国民の 健康増進に貢献するとい う目標に向かって、会員 企業が独自性、独立性を 生かしてイノベーション の創出にまい進し、各企 業の理念に基づいて各々 が活動、発展していくこ とが必須であります。

今回の70周年記念事業 を挙げる中で、小生は 当協会会長としての責任 と果たすべき任務を再認 識し、岐阜県民の健康と 福祉の充実、製薬業のさ

らなる発展のために微力